



平成 19 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 日本ビクター株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 国彦
(コード番号6792 東証・大証第1部)
問合せ先 取締役 経理部長 武田 雅亮
(TEL : 045-450-2837)

会 社 名 株式会社ケンウッド
代表者名 代表取締役社長 塩畑 一男
(コード番号6765 東証第1部)
問合せ先 CR 統括部 広報・IR 室長 能勢 雄章
(TEL : 042-646-6724)

業務提携に基づく技術開発合弁会社の設立および協業の開始に関するお知らせ

日本ビクター株式会社(以下「日本ビクター」という)および株式会社ケンウッド(以下「ケンウッド」という)は、平成 19 年 7 月 24 日に資本業務提携契約書を締結して以降、両社が手がけるカーエレクトロニクス事業やホーム/ポータブルオーディオ事業において早期に大きなシナジー効果が得られるよう、両社が設置したコラボレーション委員会を中心に開発面、部品調達面、製造面での協業の内容について協議を重ね、平成 19 年 10 月 1 日からの協業開始に向けて準備を進めてまいりました。

この度、その準備が完了したことから、当初の計画どおりカーエレクトロニクスおよびホーム/ポータブルオーディオに関する技術開発合弁会社を設立し、両社リソースを活用した新技術の共同開発を開始するとともに、製造の相互委託、部品の共同調達、IT インフラストラクチャーの共同開発、知的財産権の相互利用を中心とした協業を順次開始してまいります。

1. 技術開発合弁会社の設立

両社は、新技術開発を共同で進めることによって競争力の強化を図り、その適用の拡大による提携効果の早期最大化を図ることができるよう、対等出資により平成 19 年 10 月 1 日付で技術開発合弁会社を設立し、新たな共同開発体制を発足させます。

合弁会社での当面の技術開発テーマと会社概要は以下の通りで、カーエレクトロニクスおよびホーム/ポータブルオーディオのコスト競争力も含めた商品競争力の強化を図るため、両社合わせて当初 130 人規模の開発体制により両社で協議して決定した技術開発テーマに取り組みます。

【当面の技術開発テーマ】

* ナビ・エンジンの共同開発

ナビゲーションシステムのデバイスの中で最も開発リソースが必要とされるナビ・エンジンの共同開発により、開発期間の短縮と開発費の抑制を図りながら、両社のナビゲーションに関する事業戦略を強化し、両社の市販向け、OEM 向けのナビゲーションビジネスを早期に 100 万台規模に拡大することを目指します。

* カーマルチメディア・プラットフォームの共同開発

デジタル音声・映像放送用のチューナーをはじめ、音楽・映像再生に関するカーマルチメディアのプラットフォームの共同開発により、両社売上高を合わせて1,600億円規模のカーエレクトロニクス事業における製品ラインアップの拡充と商品競争力の強化を図ります。

* カーオーディオおよびホームオーディオのプラットフォームの共同開発

デジタルメディア化が進むカーオーディオおよびホームオーディオの音楽再生に関するプラットフォームの共同開発により、コスト競争力を含めた商品競争力の強化を図ります。

【技術開発合併会社の概要】

- | | |
|-----------|--|
| (1) 商号 | J&K テクノロジーズ株式会社（英文名：J&K Technologies Corp.） |
| (2) 資本金 | 245 百万円（出資金は資本準備金 245 百万円を合わせて 490 百万円） |
| (3) 出資比率 | 日本ビクター50%、ケンウッド 50% |
| (4) 事業内容 | カーエレクトロニクスおよびホーム / ポータブルオーディオに関して両社で協議し、決定した共同開発テーマに係る技術開発 |
| (5) 役員構成 | 代表取締役 中沢 隆平（日本ビクター 常務取締役）
代表取締役 坂本 隆義（ケンウッド 執行役員待遇 CR 統括部長）
取締役 前田 信夫（日本ビクター 理事 カーエレクトロニクスカテゴリ長）
取締役 須藤 治（ケンウッド カーエレクトロニクス市販事業部 カーマルチメディア技師長） |
| (6) 開発要員 | 親会社との兼務者も含めて約 130 人（設立当初） |
| (7) 本店所在地 | 東京都港区新橋 1 丁目 7 番 1 号 ビクタービル（実際の技術開発は、テーマごとに最も効率的な場所を選定して行います） |
| (8) 設立年月日 | 平成 19 年 10 月 1 日 |

2 . 製造委託の相互推進

製造委託の相互推進として、ケンウッドから日本ビクターへカーオーディオ、カーマルチメディア、ホームオーディオ、デバイスの一部を生産委託し、日本ビクターからケンウッドへカーオーディオ、カーマルチメディアの一部を生産委託し、順次生産を開始いたします。

同時に、部品の調達面での協業も開始し、スケールメリットの追求や外部生産委託の縮小、生産地の最適化、物流コストの削減によるコスト競争力の強化、リードタイムの短縮を推進いたします。

併せて、ケンウッドにおいてコスト削減とキャッシュ・フロー改善で大きな成果を上げた生産革新の取り組みと、日本ビクターが国内外の各生産拠点で高めてきたセル生産技術・ノウハウなどを相互に取り入れ、生産付加価値の拡大に取り組みます。

3 . 全社設計・生産 IT インフラストラクチャーの共同開発

IT インフラストラクチャーの共同開発を開始し、部品調達や設計・生産などの合理化や IT システム開発コストの軽減を推進いたします。

4 . 知的財産権の相互利用

協業を行う事業領域で両社が保有する広範な知的財産権の相互利用を開始し、両社の技術的イノベーションを共有することにより、迅速かつ強力な製品開発を推進いたします。

両社はこの協業を日本の専門メーカーの再編に向けた第一ステップと位置づけており、両社の売上高を合算するとグローバルマーケットシェア No.1 が実現するカーエレクトロニクス事業の市販（オーディオ）分野や、成長分野であるカーナビゲーションを中心とした市販（マルチメディア）分野、デジタル化・マルチメディア化が進むホーム / ポータブルオーディオ分野を中心に、独立したブラン

ド戦略の中で、新技術の開発やコスト競争力も含めた商品競争力の強化を図り、両社の企業価値創造・拡大に向けた取り組みを本格化いたします。

また、第二ステップとして、両社が設置した経営統合検討委員会を中心に、経営統合に向けた具体的な検討も開始いたしました。

経営統合にあたっては、両社が長年培ってきたブランドを互いに尊重しながら、両社の経営全般にわたってシナジー効果を追求することにより、それぞれの企業価値創造・拡大を図ることを目指してまいります。

以 上